

令和2年度
入学試験問題

国語

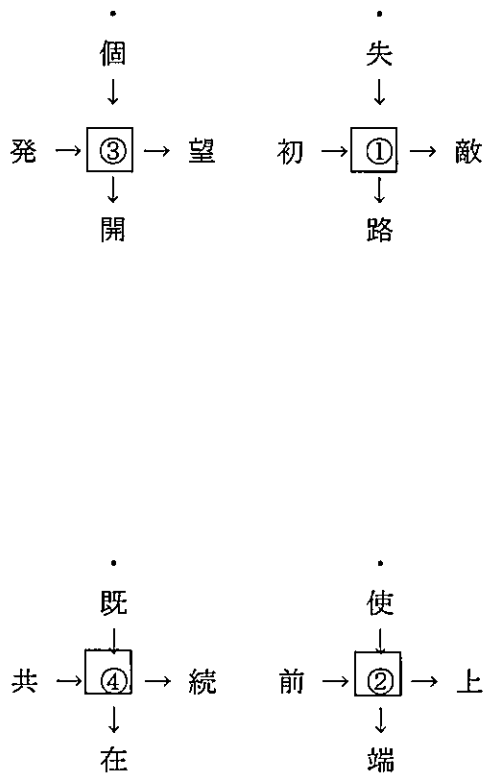
明浄学院高等学校

【一】語句に関する後の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の動物に関することわざ・慣用句について、()に当てはまる漢字をそれぞれ書きなさい。

- ① 借りてきた()
∴ 普段よりおとなしい状態。
- ② () 猿の仲
∴ 非常に仲が悪いこと。
- ③ 立つ() 跡をにごさず
∴ 引き際は美しくあるべきだということ。
- ④ () が合う
∴ 性格(気)がよく合うこと。
- ⑤ 水を得た() のよう
∴ 自分に合った環境でよく活躍している様子。

問二 次の①～④に漢字一文字をいれ、二字熟語を完成させなさい。



◎以下の【二】～【四】全ての問題において、句読点は含むものとする。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

高度な^①ゲイトウは、あるいはやさしさは、そのような^②カンカクを自らの内に持っていない人からは、誤解されやすい。「たたき殺す」というような^a下品なことをなぜわざわざテレビカメラにむかって言うのか、「もうちよつとええもんには……」というような欲の深いことをなぜこんな場合にまで言うのか、笑いを取ろうとしていることはわからないでもないが、こんな場合にそこまでして、なぜ目立ちたいのか……下品で、どん欲で、たしなみがなくて、*自己顕示欲が強い、というような^③ゲイトウ的な大阪人イメージは、このようにしてでき上がる。近畿以外の地域の人が大阪ないし大阪人に対して抱きがちな^Aそのようなイメージは、今の、例えば東京の若い人たちの間では相当に変わって来ている。けれども、全国的に中年以上の人の^b大阪きらいには根深いものがあり、それは安手の大阪ものテレビドラマの影響を差し引いてもなお、右のような事情で成立するということ、われわれは知っておいた方がよいであろう。それは、言ってしまうえば、一つの文化というものがその文化の外にいる人には理解されにくい^B、そういう宿命を持つていて、この^c端的な現れである。

地震で家を失った人があれほど穏やかにやわらかく話していたことと、ヤクザでも何でもない普通の主婦がまだ出会っていない毒グモを「たたき殺す」と言い放つことと、その二つの落差が、よその人には理解しにくい場合があるのである。彼らが「関西弁」に感じるその二面性を、神戸と大阪の差である、あるいは大阪と河内の差であるなどと、わけ知り顔に地域差に持ち込んで解説する人さえある。無論^Cそれは正しくない。被災者のどこかおかし、余裕のあるもの言いと、毒グモ主婦の切って捨てるような突き放したことばの背後には、聞いて退屈せんように、言うてる自分の肩が凝らん

ように、なんなと言っておもしろせなあかんというカンカク、相手と自分の間に気まずさや我慢の沈黙を許してはならないという配慮が、共通に横たわっていることに、気づかねばならない。ことばの背後に見て取れる、人と人との接触の仕方、ものの感じ方や表現の仕方、そういった面での独特の洗練された様式こそが、その^D都市の文化である。一つの文化は、そこに内在する普遍性のゆえに、外の人にも理解される可能性を持つ。

(尾上圭介『大阪ことば学』より)

* (注) 自己顕示・・・社会生活において、自己を著しく他人に目立たせるように行動すること。

問一 二重傍線部①く③のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部A「そのようなイメージ」とはどのようなイメージのことですか。本文中より二十六字で抜き出しなさい。

問三 傍線部B「そういう宿命」とはどのような宿命のことですか。次の空欄(ア)く(ウ)に当てはまる語句を本文中よりそれぞれ抜き出し文を完成させなさい。

大阪ぎらいが(ア)ように文化の(イ)にいる人には(ウ)されにくいこと。

問四 傍線部C「それ」とは何を指していますか。本文中より二十五字以内で抜き出しなさい。

問五 傍線部D「都市の文化」とありますが、本文ではどの都市の文化を説明していますか。都道府県名で答えなさい。

問六 波線部a「下品」の対義語(反対語)を漢字で答えなさい。

問七 波線部b「大阪ぐらい」とありますが、次のうちイメージが変わってきている人物は誰ですか。次のア〜ウから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 近畿以外の地域の人 イ 東京の若い人たち ウ 全国的に中年以上の人

問八 波線部c「端的」を使い、短文を作りなさい。

問九 本文中の点線部の語句の意味を次のア〜ウからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 相当 ② 配慮 ③ 洗練

ア 想定されるいろいろな場面に対する対処の方法を考えて何かをすること。

イ 他の物とちようど釣合がとれること。

ウ 目に見えない所にもいろいろ工夫をこらし、全体としてむだのない出来ばえに仕上げること。

【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

べつに意識しているわけでもないのだが、なぜか私の友人は“金持ちの家の子”というのが昔から多い。私の家は小さな^①ヤオヤなので、当然ながら全然金持ちではないのだが、商店が多い町のため特に引け目も感じ^aずのびのび育った。

小学校の頃、十人位集まって、自分の家の自慢をした。皆、商店の子供だったので、お花屋さんや

からお米屋さんやら、おすし屋さん等各々が得意げに発言した。
私も大得意だった。

「わたしんちはねエ、スイカなんかもう五月頃から食べられるんだよ。メロンなんかさあ、毎日食べてるからアきちやっただよ」

そう言ったら、皆が「おおっ」と歓声をあげ、一番いいのはヤオヤダという事になった。中でも穂波さんという子が一番羨ましがり、「いいなー、メロン毎日食べれていいなー」としきりに言っていた。彼女の家は不動産屋である。そんなに羨ましいのなら、喜んで立場を替わってやりたい。

彼女の一家が引越すことになった。トナリ町に新しい家を建てたからだ。それまで住んでいた家もかなりのものだ。大きい池があつて錦鯉がウジャウジャ泳いでいる。これよりすごい家に引越すのかと思うと、子供の私にはもう想像がつかなかった。

引越したから遊びにおいでと言うので、私は早速おじやました。長い塀で門まで遠い。やっと門に着き、はるか遠くの真正面に二階建の日本家屋が見えた。私は「へー、日本のおうちって感じがするねエ。あんたの部屋は二階なの？」と尋ねると「え？もしかしてあの建物のこと言ってるの？あれはずっとおばあちゃんが住んでいた家で、今は物置きだよ」と言った。じゃあ家は？と尋ねる間もなく左横を振り向くと、そこには平安時代のお姫様が住んでいるような新しい御殿が建っていた。中からおばさんが「いらつしやい」と出てきた時には、本当に紫式部かと思つたほどである。私がさきほど間違えた物置き小屋だって、うちの家族に与えれば大喜びで住むに違いない。私はメロンの無力を哀しく思った。

不動産屋の次は医者である。加藤さんの父は有名な精神病院の院長で、私の家の近所にすごい家を建てたのだ。中学二年の時である。

当時ではまだ④メズラしい床⑤ダンボウシステムで、足の裏が熱かったのが印象深い。台所も居間も広々しており、床にはゴルフボールが転がっているし、犬も走っている。外国の映画に出てきそうなゆったりした階段を少し登ると、中二階へ着いた。ここは、お客様が来た

時のパーティー用の部屋だそうで、三十畳位あるだろうか。中学の美術の教科書に出てきそうな

。大きな洋画が重々しく飾っており、^d白いピアノに弾き語り用のマイクが取りつけてあった。

ここで、どんなパーティーが繰り広げられるのだろう。^G永遠に私には縁の無い事だと思っていたのだが、意外にもそれを垣間見られるチャンスがやってきたのだ。

(さくらももこ『もものかんづめ』より)

問一 二重傍線部①⑤のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 波線部 a ㄱ d の品詞名を次のアㄱカからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 連体詞 イ 形容動詞 ウ 助詞 エ 形容詞 オ 副詞 カ 助動詞

問三 傍線部 A「得意げ」と同じ意味の四字熟語を次のアㄱウから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 威風堂々 イ 意気揚々 ウ 順風満帆

問四 傍線部 B「ウジャウジャ」、F「平安時代のお姫様が住んでいるような」の表現技法として、正しいものを次のアㄱエからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 反復 イ 擬音語 ウ 比喻(直喩) エ 擬態語

問五 傍線部 C「これ」とは何を指していますか。本文中より十字以内で抜き出さなさい。

問六 傍線部 D「早速おじやました」とありますが、それはいつの出来事ですか。本文中より五字で抜

き出しなさい。

問七 傍線部E「二階建の日本家屋」とは誰のどういう建物のことですか。次の空欄(①)～(③)に当てはまる語句を本文中よりそれぞれ抜き出し文を完成させなさい。

(①) (②) (③)の父を持つ穂波さんの(②) (③)が住んでいた家で、現在は(③) (①)になっている。

問八 傍線部G「永遠に私には縁の無い事だと思っていた」とありますが、それはなぜですか。本文中の語句を使って十五字以内で簡潔に答えなさい。

問九 この文章について述べたものとして適切でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私はヤオヤの娘であり、毎日スイカを食べることが出来る。
- イ 一番いいのはヤオヤだということになったが私はそうは思っていない。
- ウ 私の家の近所には加藤さんの大きな家がある。
- エ 加藤さんの家にはパーティーが出来るぐらいの大きな部屋がある。

【四】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。(ただし原文の漢字・仮名遣いは問題の都合上一部改変してあります。)

妻を大切に思う気持を持てなかった時に (家の) 妻が 大切に

昔、男ありけり。宮仕へいそがしく、心もまめならざりけるほどの家刀自、まめに思はむと言ふ

人

につきて、人の国へ^① 往にけり。この男、宇佐の^② 使ひにて行きけるに、ある国の祇承の官^{しぞう}の官^{くわん}人の妻^{にん}に
て

なむあると聞きて、

盃を持たせて酒を注がせよ。そうでなくては飲むまい

「女あるじにかはらけとらせよ。さらずは飲まじ」と言ひければ、かはらけ取りて^③ 出だしたりけるに、
酒のつまみとして出されていた橘の果実を手を取って
さかななりける橘を取りて、

A 五月待つ花たちばなの香をかげば昔の人の袖の香ぞする

と言ひけるにぞ^④ 思ひ出でて、^b 尼になりて山に入りてぞありける。

(『伊勢物語』第六十段より)

問一 傍線部①く③の読みを漢字も含め全て現代仮名遣いで答えなさい。

問二 波線部 a 「宮仕へいそがしく」、b 「尼になりて」の主語を本文中よりそれぞれ抜き出しなさい。

問三 傍線部④「思ひ出でて」とありますが、女主人は何を感じたのですか。次のアくエから適当で

ないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の過去の行いを恥じた。
ウ この男が昔の夫だったことに気付いた。
イ 昔の暮らしを思い出した。
エ 花橘の香りを感じた。

問四 「A」の歌について次の問いに答えなさい。

(1) 五月を待って咲く橘の香りをかぐと、どのような人の袖の香りがするといっていますか。
Aの歌の中から抜き出さない。

(2) (1)の人とは具体的に誰のことですか。簡潔に説明しなさい。

(3) 似た歌が、他の和歌集にも載っています。それは、この物語が作られた時代と同じ時代に作られた和歌集です。その和歌集を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 『新古今和歌集』 イ 『万葉集』
ウ 『古今和歌集』

(4) Aの歌には係り結びの法則が使われています。その部分のみを抜き出さない。

問五 『伊勢物語』に関する次の問いについて、後の語群より適切なものを選んで答えなさい。

- (1) 『伊勢物語』のように歌が物語の間に詠まれている作品を何物語といえますか。
(2) 『伊勢物語』は、『源氏物語』と同じ時代の作品です。何時代に作られたものですか。
(3) 『伊勢物語』の主人公は、ある人物がモチーフとされています。百人一首にも選ばれ、六歌仙の一人でもあるその人物とは誰のことですか。

【語群】

和歌 在原業平 江戸 平安 清少納言 歌

| 【四】 | | |
|------|-----|-------------------|
| 問五 | 問三 | 問一 |
| 1 | 工 | ① |
| 歌物語 | | いに |
| 2 | 問四 | ② |
| 平安時代 | 1 | つかい |
| | 昔の人 | |
| 3 | 2 | ③ |
| | | いだし |
| | 前夫 | 問二 |
| 在原業平 | 3 | a |
| | ウ | 男 |
| | | b |
| | 4 | 祇承の官人の妻 (女あるじ) |
| ぞする | | |

| 【三】 | | | | |
|-----|--------|----|----|-----|
| 問八 | 問六 | 問四 | 問二 | 問一 |
| 私 | 小 | I | a | ① |
| の家 | 学 | 工 | カ | 八百屋 |
| は | 校 | | | |
| は | の | II | オ | 飽 |
| 、 | 頃 | | | |
| 金 | 問七 | ウ | c | ③ |
| 持 | ① | | | |
| ち | 不動産屋 | 問五 | ア | 隣 |
| で | | | | |
| は | ② | そ | d | ④ |
| ない | | | | |
| い | おばあちゃん | れ | e | 珍 |
| か | | | | |
| ら | ③ | 住 | 問三 | ⑤ |
| 。 | | | | |
| 問九 | 物置き | ん | イ | 暖房 |
| ア | | | | |
| | | で | | |
| | | いた | | |
| | | た | | |
| | | 家 | | |

| 【二】 | | | | | | |
|--------------|-----|----|-----|---|----|----|
| 問八 | 問四 | | 問二 | | 問一 | |
| (例) 端的に物事を言う | さ | わ | 顕 | 下 | ① | |
| | え | け | 示 | 品 | 芸当 | |
| | あ | 知 | 欲 | で | | |
| | る | り | が | 、 | | |
| | | 顔 | 強 | ど | ② | |
| | 問五 | に | い | ん | | |
| | 大阪府 | 地 | 問三 | 欲 | で | 感覚 |
| | | 域 | ア | 、 | | |
| | | 差 | 根深い | た | | |
| | 問九 | に | 持 | し | ③ | 伝統 |
| ① | イ | ち | な | | | |
| ② | ア | 込 | み | が | 外 | |
| | 上品 | んで | 無 | | | |
| ③ | 問七 | 解 | く | て | ウ | |
| ウ | イ | 説 | 、 | | | |
| | | する | 自 | 己 | 理解 | |
| | | る | | | | |
| | | 人 | | | | |

| 【一】 | |
|-----|----|
| 問二 | 問一 |
| ① | ① |
| 恋 | 猫 |
| ② | ② |
| 途 | 犬 |
| ③ | ③ |
| 展 | 鳥 |
| ④ | ④ |
| 存 | 馬 |
| | ⑤ |
| | 魚 |

【国語解答题用紙】

【一】・【二】・【三】問一は一点。
【二】問二・四・八・【三】問五・八は三点。その他二点。

| |
|------|
| 受験番号 |
| |
| 得点 |
| |